

さんぽ木だより

2013
冬号
vol.7

友の会会員の皆さまと記念館を結ぶ会報誌

つわの花
かくて今年も
つわの花
咲いて
暮れゆく
思うこと
多くを残し
悔いを重ねて
手を合わせるのみ



館長エッセイ

かすかな光と希望を信じて

施設の方々や地域活動、研修旅行での
来館者が増えています

真民詩とわたし

なにもかも委ねたくなる
優しさをお持ちでした

大西 重子さん

真民詩を読み解く ⑥

坂村真民が一遍上人に誓った決意
「約束」

ちょっと手ほどき

『宇和島時代』をもっと知ろう

坂村真民記念館のお知らせ

相田みつを美術館(東京・有楽町)にて

「念ずれば花ひらく

～坂村真民と相田みつをの世界」展を開催します

【第七回】施設の方々や地域活動、研修旅行での来館者が増えています

かすかな光と希望を信じて

前回の秋号で、来館者数の減少とそれに対する対応策について書きましたところ、全国の真民ファンの方々から貴重なご意見とご提言をいただきまして、ありがとうございます。

すぐにでも対応できるものと、予算を伴うものもあり、出来るところから実行してゆきたいと思っています。皆さんの真民記念館を「思う気持ち」が、ひしひしと伝わってくるメッセージをいただき、私も今一度原点に戻って、坂村真民の詩の魅力を伝えていく覚悟を決めました。

さて、今回は、全国各地から来ていただく方々をご紹介します。

坂村真民記念館には、毎日必ず何組かの県外からの来館者があります。本当にありがたいことです。昔からの真民詩の愛読者が「やっと来ることができました。」と涙を流して挨拶してくださると、私もこういう方が一

人でも来てくださると、真民も喜んでいらっしゃるかと嬉しくなります。

月刊誌「致知」の読者の方や、実践人の家の会員の方々、倫理法人会の会員の方々も、全国から来ていただいております。

特に現在展示中の「宇和島時代の坂村真民」展の中で、森信三先生との出会いとその後の交流を詳しく解説しておりますので、実践人の家の熱心な会員の方々の来館が多く、改めて森信三先生の影響力の大きさに驚いています。

また、倫理法人会の会員の方々は、昔からの真民ファンの方が多く、その方々の紹介でこの記念館に来館される方も多いのです。

こうした方々は、来館されても本当に熱心に展示作品をご覧になり、一生懸命メモを取られたり、質問をされたりして、私たちスタッフ一同いつも感

心しています。

ところで、最近は、県内の団体の来館者のうち、グループホームや老人ホーム、障碍者の施設の方々が多く来ていただいていることに気づきました。

少し痴呆症になつてる方や知的障害のある子供たちなどが、施設の職員の方に引率されて、一つ一つの作品と一緒にゆつくりと読みながら見て回っている光景は、記念館にもっともふさわしいものではないかと思っています。

対応が遅れています。施設設備等の改善をして、坂村真民と深く関係のある眼の見えない方々にも、この記念館に来ていただけるようにする必要があります。

さらに、地域の公民館活動の一環としての研修旅行や婦人団体の研修会、読書グループの研修旅行等に記念館を活用してくださることが多くなつてきています。

そして何より嬉しいことは、来てくださった方々が皆さん「来て見て良かった。心が洗われた。自分の人生を考えるきっかけとなった。」等の感想をアンケートに書いてくださり、是非もう一度友達や家族を連れて来たいと言つてくださる方が多いことです。

来館者数を増やすことは、こうした方々に丁寧に対応し、一人から一人、二人へと確かな形で記念館の良さを伝えていくことが、基本であり、確かな道であることを改めて痛感しました。そこから、かすかな光と希望が生まれてくることを願って、気持ちを引き締めていきたいと思っています。



寺子屋まなざし童心塾の皆さんと

なにもかも委ねたくなる 優しさをお持ちでした

おおにし しげこ 大西 重子さん(71歳)



三重県在住の大西重子さんと真民詩の出合いは30年ほど前のこと。介護に疲れた身体と心に、真民さんの言葉は強く訴えかけた。その後、数々の出会いに恵まれた大西さんは、真民さんゆかりの地に詩碑の建立を発願する。困難を乗り越えて425番碑が建てられたのは平成9年のこと。発願から10年あまりの歳月が流れていた。

◆病んだ心を抱えて

真民先生の詩に出合ったところ、私は寝たきりの義父の介護に明け暮れていました。懸命でしたが、自分の不甲斐なさを恥じることも多々ありました。周囲からの言動に傷つき心を病んだ私は、高田好胤管長や松原泰道禅師の講話や、紀野一義さんの著作に救いを求めました。そこにはいつも真民先生のお名前があり、詩に出合うきっかけとなりました。はじめて詩に触れた時は涙が止まりませんでした。

先生にお会いしたのは、京都知恩院での詩碑除幕式が最初です。畏れおおくて声をかけられず、後ろの方からお姿を拝見したのですが、なにもかも



平成9年4月27日建立の425番碑。伊勢神宮外宮で調達された石に、岡崎市の石彫家・野本昌広さんが彫刻

委ねたいと思わせる優しさを感じました。

不思議なことに、それからというものの、行く先々で真民先生にご縁のある方とお会いするようになりました。

◆ゆかりの地に詩碑建立

昭和59年のNHKテレビ「訪問インタビュー」で、つゆくさの会の皆さんが砥部町の理正院に建てられた碑を、真民先生が愛おしそうになでられるのを拝見した時、私も詩碑を建てたいと思うようになりました。

先生が伊勢の神宮皇学館(現皇学館大学)在学中、禅寺の心證寺(しんしょうじ)に住まいし、近くの五十鈴川で米を研いで湯をわかしたという、ゆかりの地にぜひ建立をと思いました。しかし、寺はすでに廃寺となり、



詩碑は五十鈴川にほど近い伊勢市楠部の公園の一角にある

跡地は市の公園として整備され、使用許可がおりません。

苦慮していたところ、伊勢の名士の方々がたまたま愛媛で真



平成元年、愛知県西尾市で開催の「詩墨展」にて

民先生にお会いになり、先生から「力を貸してくれないか」と頼まれたとのこと、その方の力添えで話が進み、賛同者も200人ほどになりました。また、当時皇学館大学理事長だった櫻井勝之進先生が真民先生の同級生という偶然も重なり、盛大な除幕式となりました。

◆優しさと戒めが詩の魅力

「めぐりあいのふしぎ」「二度とない人生だから」も好きですが、一番好きな詩はやはり「念ずれば花ひらく」です。真民先生の詩は、優しさだけでなく戒めもあり、心に傷を負った人を温かく包み込んでくれます。文字にも心が感じられ、詩墨展では、作品の前に立つだけで涙が出るんです。

昨年の坂村真民記念館オープンにうかがいました時、真民先生がそこにおられるように感じました。記念館が多くの人に末長く愛されることを願っています。

生の原動力と創作の源泉になった決意

「約束」

約束

わたしは一遍上人と
約束をした
あなたは南無阿弥陀仏
決定往生六十万人と書いた
賦算札を配つて
日本全国を歩いたが
わたしにはそんなことはできないし
しても今の世の人々は
喜び受け取ってくれそうもないので
詩誌「詩国」を発行して
あなたの御遺志を継いでゆこう
そう思い
あなたの御誕生地にある
宝蔵寺にお参りをし
あなたの足に手を触れ
あなたとの命の交流を乞い
新しい出発を始めた
ああこの聖なる約束を果すため
一年でも一日でも長く生きてゆこう



この詩は真民が72歳の時の詩です。
昭和34年9月12日、真民50歳の
時、道後の宝蔵寺を訪ね、一遍上人
立像と対面し、立像の裸足の足に触
れ、魂と魂との交流がなされ、真民
は、この日以来一遍上人の遺志を継
ぐことを決心するわけです。

それは、「南無阿弥陀仏 決定
往生六十万人」の願をかけながら、
25万2000人で亡くなった一遍上
人の跡を継いで、賦算札の代わりに
個人詩誌「詩国」を発刊し、配布す
ることでした。

昭和56年11月に、「一遍上人語録
捨て果てて」が大蔵出版社から
出版されたのを機会に、22年前の一
遍上人との「約束」を、もう一度再
確認するため、この詩を作ったのだ
と思います。

坂村真民にとって、一遍上人との

出会いは、「詩国」を毎月休まず発刊
し、封筒に宛名を書いて、全国の読者
にそれを配布するという、「大きな行」
の始まりでもありました。

また、一遍上人の生き方に共感し、
「身軽になる」、「捨てる」ことを実践
し続けた真民の生き方は、この時から
始まっているのです。

人間として生きていく上で、本当に
必要なものは、そんなに多くありませ
ん。要らないと思うものは、どんどん脱
ぎ、また捨てることによって、「身軽に
なる」ということが、真民流の生き方
なのです。

鎌倉時代最後の宗教家である、一
遍上人は、武家や貴族の人々からも信
奉されていましたが、鎌倉時代のどの
宗教家よりも、庶民の中に降りてゆ
き、とりわけ下層階級の人々から圧倒
的な支持を得ていました。

「捨て聖」、「遊行聖」と呼ばれたよ
うに、破れ綻んだ衣と裸足に草鞋だけ
の姿で念仏のお札を配って、全国を回
ることに生涯を捧げた人でした。そし
て、亡くなるときには、自分の着ていた
物や経本をすべて焼き尽くすことを
弟子に命じたとも言われています。

真民も、沢山の本を買って読んで

ますが、そのほとんどの物は、読み終わ
ると、それを本当に必要とする方にさ
し上げていました。記念館の書斎に置
いている小さな文机にしても、三瓶時
代に使っていたものを40年以上使い続
けていましたし、古い物を大切に使っ
ていました。

晩年には色々な賞をもらいました
が、その賞金もすべて福祉団体や県と
町に寄付をし、自分のために使うこと
はまったく考えない人でした。

仏様の生き方に近づくため、自分
に厳しい生き方を最後まで貫きとおし
た坂村真民の人生を考えると、一
遍上人との出会いは、まさに真民の人
生を大きく変える出来事であり、一
遍上人との「約束」は、真民の生きる
原動力であり、真民詩の生まれる源泉
であったと言えます。

※記念館では、平成26年3月2日まで、一
遍上人との出会いを含め宇和島時代に真
民が出会った方々との交流とそこから生れ
た詩について解説し、展示しています。

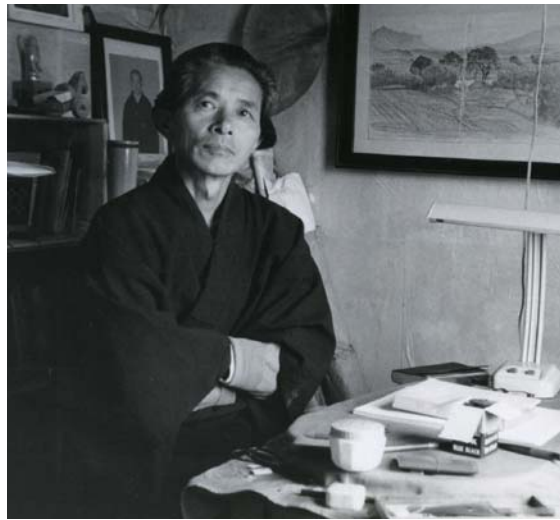


企画展をもっと理解していただくために

『宇和島時代』をもっと知ろう

ちょっと手ほどき

宇和島時代は、一遍上人と出会い、賦算^{ふさん}を継いで詩誌「詩国」の発行が始まりました。さらには東京の出版社から詩集が発行され、全国に真民詩が知られるようになった時代です。



民さんは、一遍上人のどこにひかれるか自問自答した結果、「この涼しさなのである」と書いています。軽さ、涼しさは「旅からきている。遍歴からきている」と。そして、一遍上人は「豊かな詩人的性質を体一ぱいに持っていた人」で、その言葉は「詩と宗教とがまったく一つになった大宇宙そのもの」だと記しています。

一遍上人は、真民さんの求める道を体現した、理想の人、尊崇すべき人でした。

森信三先生

戦前戦後を通じて日本の偉大な教育者だった、森信三先生との出会いも、また特別なものでした。

真民さんが宇和島で暮らした47歳〜58歳(昭和31年〜42年)までの12年間に、その後の人生を決定づける3人の人物に出会っています。

その一人は一遍上人。二人の縁^{えにし}は、P4の「真民詩を読み解く」でもわかります。真

本に全詩をまとめることなど、大喝を入られたのです。

『自選坂村真民詩集』の出版が決まった時、森先生が真民さんに送った電報は「ツイニ コニイタレルカ アア モリ」。

出来上がった本が森先生の手元に届いた時は、「ホンツイタ コレデニホンガスクワレル モリ」。

『自選坂村真民詩集』の序文で、森先生は真民さんの詩の世界を、高朗清澄な詩境だと評しており、真民さんはこの本の後記で、森先生のことを、「一本の強い固い筋金を打ち込んで下さった稀有な真人」と書いています。

魂の通じ合う二人。真民さんにとって、まさに父なる存在だったのです。

岩野喜久代さん

もう一人、よく理解者であり、第三の母と呼んだのが、大東出版社社主の岩野喜久代さんです。『自選坂村真民詩集』を出す気があるなら、大東出版社から出させて欲しい、と真民さんに申し出て、世に真民詩を知らしめた人です。

歌人でもある岩野さんは、すぐれた言葉の使い手でした。著書『さかむらしんみんさんの風光』(仏教タイムス社)は、真民詩の奥に広がる豊かな世界を、一流の文

章で綴っています。

しんみんさんの詩は、表現はやさしい。九十のおばあさんでも三歳の童児でもよめる。しかし、読む者の立場からいえば、相手により深くも大きくも、強くもひびく楽器のようなものだ。易しいトバの奥の意味の何と深遠であることよ。

岩野さんは、時に、真民さんに厳しい手紙を送りました。

(詩国4月号を受け取り)『朴』や『詩国第1集』時代に比べると、全体にみずみずしい情感がなくなった。一読して「ああそうですか」で何の感動もなく終わってしまう詩をどうぞおすてになって下さい。

この手紙を受け取った真民さんは、反省し、自省しなくてはならぬ、と日記「詩記」に書いています。忌憚^{きたん}のない意見を言ってくれる、かけがえのない人でした。



自選詩集

「詩国」創刊号



※随筆集『念ずれば花ひらく』(サンマーク出版)より

相田みつを生誕90年特別企画展

「念ずれば花ひらく～坂村真民と相田みつをの世界」展(仮称)

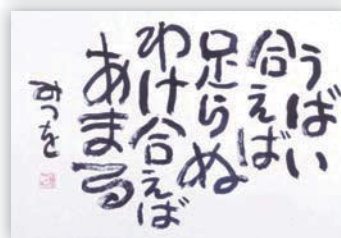
【期 間】 平成26年3月4日(火)～6月8日(日)〈予定〉

【場 所】 相田みつを美術館
(東京・有楽町・国際フォーラムB1)

坂村真民の代表的な詩墨作品を30点以上展示します。

共に仏教の世界を深く学び、仏の教えを根底に詩を書き続けた二人の「詩墨作品」を同時に味わうことが出来る貴重な展示です。

どうぞ皆様お誘い合わせのうえご来場くださいますようお願いいたします。



坂村真民記念館開館2周年記念特別展

「小池邦夫と坂村真民の世界」展

【期 間】 平成26年3月11日(火)～6月1日(日)〈予定〉

【場 所】 坂村真民記念館

「絵手紙文化」を全国に発信し続けている、書家小池邦夫の、郷里・愛媛での初めての本格的な作品展が、小池が慕い、尊敬した坂村真民とのコラボ展という形で実現しました。



「坂村真民の誕生日の会」を開催します。是非ご参加ください。

【日 時】 平成26年1月5日(日)10:30～13:30 【場 所】 坂村真民記念館会議室

参加を希望される方は、メール又は電話で記念館に申し込んでください。先着30名まで受け付けます。

坂村真民記念館 メール info@shinmin-museum.jp 電話 089-969-3643

「ラジオ深夜便」の放送のお知らせ

西澤館長と真美子夫妻が、NHKのラジオ深夜便に出演します。

〔放送予定日〕 平成25年12月12日(木)午前4時～

FM愛媛 毎週土曜日 午前8時55分～9時00分 「しんみんさんの詩」放送中

FM愛媛では、毎週土曜の朝、真民さんの詩を一つずつ紹介する5分間番組を放送しています。

詩の朗読は清水小百合さん。解説は西澤孝一館長。「真民さんの詩の紹介とともに、その詩が生まれた時代背

景や、真民さんの心情を、西澤館長にわかりやすく解説してもらっていますので、短い時間ですが、心に残る番組になっています」というのは石田伸浩プロデューサー。およそ1年前から始まったミニ番組。耳を傾けてはいかがでしょうか。

※FM愛媛(松山79.7MHz 川之江80.0MHz 新居浜89.2MHz 今治80.6MHz 大洲78.8MHz 八幡浜77.6MHz 城川80.2MHz 宇和島82.1MHz)

坂村真民記念館を応援しています



経営理念

最大の会社より最良の会社
人さまに喜んで頂く仕事と自分づくりをする

[パチンコ店経営]

株式会社 宣翔物産

〒812-0857 福岡市博多区西月隈3-6-17 Tel 092-475-1151

[関連グループ会社]

株式会社 クリオ

ホテルクリオコート博多
〒812-0012 福岡市博多区博多駅中央街5-3 Tel 092-472-1111



『一道を行く』

と

『泰然不動』

とは、同意語であろうか？

ぶれない経営の為に真民先生に、うかがいたいと思う今日の私です。

南木曾木材産業株式会社

〒399-5302 長野県木曽郡南木曽町吾妻1187 代表取締役 柴原 薫
TEL 0264-57-4000 FAX 0264-57-2006 <http://www.nagiso.co.jp/> メール kao@nagiso.co.jp

涙

感動して

涙がでるということは

なんていいことだろう

軽い体になり

血が清くなり

素直な心になり

生きていくことが嬉しくなる

ああ

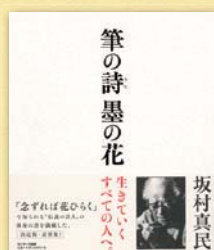
南無光明無尽の涙よ



医療法人 誠志会
砥部病院
TOBE HOSPITAL

〒791-2114 愛媛県伊予郡砥部町麻生40-1 TEL089-957-5511

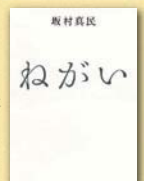
坂村真民記念館
所蔵の作品を満載！



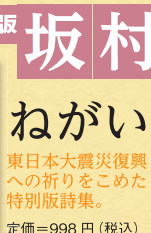
定価=3675円(税込)

筆の詩墨の花

サンマーク出版



随筆集



随筆集

念ずれば花ひらく

随筆集

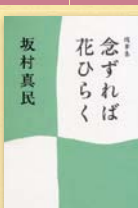
めぐりあいのふしぎ

随筆集

愛の道しるべ

定価=各1890円(税込)

坂村真民の本



定価=各1050円(税込)

詩集二度とない人生だから
詩集宇宙のまなざし



定価=各1050円(税込)



刊行後15年で
9.3万部の
超ロングセラー！

詩集念ずれば花ひらく

サンマーク出版

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-16-11 <http://www.sunmark.co.jp>
TEL 03 (5272) 3166 FAX 03 (5272) 3167

いま届けたい、生き方の道しるべ

医療法人 徳真会グループ

時代先駆の歯科医療グループを目指して

中国
《上海》
上海徳真会口腔診所
上海徳誠会口腔門診
上海浦東新区徳清会口腔門診
上海浦東新区徳申会口腔診所
上海徳心会格維診所
上海インプラントセンター
(株)ゼネラルスタッフ 上海本部
(株)ワールドラボ 上海

《蘇州》
蘇州徳真会口腔診所
蘇州高新区徳盛会口腔診所

《無錫》
無錫徳真会口腔診所

《厦門》
厦門徳真会歯科センター

スコットランド
Oak Tree Dental Centre.
WORLD LAB Scotland

香港
Dental Implant &
Maxillofacial Centre
WORLD LAB Hong Kong

シンガポール
TP Dental
Surgeons Pte Ltd

オーストラリア
WORLD LAB Australia

CANADA
WORLD LAB Canada

U.S.A
WORLD LAB U.S.A

ハワイ
WORLD LAB Hawaii

新潟
新潟 松村歯科
新潟 まつむら歯科
新潟 おぎかわ歯科
水原 まつむらデンタルクリニック
津川 まつむらデンタルクリニック
関川 松村歯科
巻 しらとり歯科
長岡 松村歯科
長岡 まつむら第二歯科
柏崎 まつむら歯科
高田 まつむら歯科
上越 まつむら歯科
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ新潟センター

東京
立川 まつむら歯科
駒込 まつむら歯科
目黒 USTINY DENTAL
稲城 わが台デンタルクリニック
自由が丘 眞坂歯科医院
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ東京センター

宮城
名取 名取デンタルクリニック
青葉 青葉デンタルクリニック
青葉 青葉第二歯科
利府 利府デンタルクリニック
いずみ いずみデンタルクリニック
石巻 石巻デンタルクリニック
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ仙台センター

大阪
みのお みのおデンタルクリニック
江坂 江坂歯科
江坂 江坂第二歯科
(株)ゼネラルスタッフ
(株)ワールドラボ大阪センター

福岡
博多 はかた中央歯科

新潟
松村歯科 新潟診療所
まつむら歯科 新潟診療所
おぎかわ歯科
まつむらデンタルクリニック 水原診療所
まつむらデンタルクリニック 津川診療所
松村歯科 関川診療所
しらとり歯科
松村歯科 長岡診療所
まつむら第二歯科 (長岡市)
まつむら歯科 柏崎診療所
まつむら歯科 高田診療所
まつむら歯科 上越診療所

☎025-201-1885
☎0250-24-6688
☎0250-23-4880
☎0250-62-2151
☎0254-92-0150
☎0254-64-1201
☎0256-72-1771
☎0258-28-4108
☎0258-31-7202
☎0257-20-0310
☎025-521-6780
☎025-522-6001

宮城
いずみデンタルクリニック
青葉デンタルクリニック
青葉第二歯科
利府デンタルクリニック
名取デンタルクリニック
石巻デンタルクリニック

☎022-253-1588
☎022-348-2125
☎022-348-1085
☎022-766-4130
☎022-381-0921
☎022-25-5088

大阪
江坂歯科
江坂第二歯科
みのおデンタルクリニック

☎06-6386-0233
☎06-6310-7660
☎072-749-2080

東京
まつむら歯科 駒込診療所
まつむら歯科 立川診療所
USTINY (アステアーニ)
わが台デンタルクリニック

☎03-3949-8818
☎042-538-1088
☎03-6431-8633
☎042-350-5671

福岡
はかた中央歯科

☎092-892-5134

中国
厦門徳真会歯科センター
上海徳真会口腔診所
上海徳誠会口腔門診
上海浦東新区徳清会口腔門診
上海浦東新区徳申会口腔診所
上海徳真会格維診所

☎86-592-2290088
☎86-21-5208-0208
☎86-21-6340-0290
☎86-21-5030-7858
☎86-21-6856-1040
☎86-21-3366-6129

蘇州徳真会口腔診所
蘇州高新区徳盛会口腔診所
無錫徳真会口腔診所
Branemark Osseointegration Center

☎86-512-6763-5720
☎86-512-6803-2501
☎86-510-85281121
☎86-21-6289-8101

株式会社ワールド・ラボ
新潟センター
大阪大阪センター
仙台センター
東京センター
WORLD LAB U.S.A
Ultimate Styles Dental Laboratory
徳真会歯科制作上海有限公司

☎0250-23-2009
☎06-6190-2660
☎022-348-1206
☎03-6431-9239
☎1-949-727-0121
☎1-949-727-0822
☎86-21-5270-1325

株式会社ゼネラルスタッフ
本 社
新潟本部
東京本部
大阪本部
上海本部

025-201-1183
0250-25-2016
03-6431-9809
06-6310-6066
86-21-6340-0316



医療法人
徳真会グループ
www.tokushinkai.or.jp



坂村真民記念館友の会 会員募集中

坂村真民記念館友の会は、会員の皆様と記念館との交流を図り、記念館を共に支え、育てていくことを目的とした会です。入会された方には会報と、真民グッズなどの記念品を贈呈します。

パスポート会員 年会費2000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
一般会員 年会費5000円	特典 会員証で入館無料1人 ほか
特別会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人 ほか
法人会員 年会費10,000円	特典 会員証で入館無料2人、 観覧券10枚贈呈 ほか

詳しくはホームページをご覧ください [坂村真民記念館 友の会](#) [検索](#)

《編集後記》 10月1日から「宇和島時代の坂村真民」展が始まっています。一遍上人や森信三先生との運命的な出会いを経て、「詩国」を創刊し、いよいよ本物の詩人として生きる覚悟を決めたのが、この宇和島時代です。宇和島での生活と真民詩との関わりをより深く理解するための展示構成となっています。是非お知り合いの方をお誘い合わせのうえ、どうぞ記念館にお出かけ下さい。(西)

タンポポダより vol.7 冬号

平成25年12月1日発行 表紙写真：西澤孝一

発行元／坂村真民記念館友の会事務局

〒791-2132 伊予郡砥部町大南705 坂村真民記念館内
TEL089-969-3643 FAX089-969-3644

〔坂村真民記念館〕

開館時間／9～17時(入館は16時30分まで)

休館日／月曜(月曜が祝日の場合は翌日)、12月29日～1月1日

入館料／65歳以上300円、一般400円、高校生・大学生300円、小・中学生200円 ※15人以上の団体は割引あり